

7. 国際交流

7.1 国際交流委員会

委員長：濱 耕子 教授

委員：西村教授、加藤准教授、木森准教授、塚田准教授*、織田准教授、市丸講師、
金谷講師*、中道講師、山崎助教、清水助教*、大江助教、梶谷助手*、大西助手*
(*任期2017年1月～)

事務局：塚本課長補佐

活動内容：

1. 学生の夏期アメリカ看護研修(国際看護演習) (7.3参照)

本学では、国際的に活躍できる人材の育成をめざし、夏期アメリカ看護研修(国際看護演習、1単位・30時間)が行われている。参加経費は学生の自費によることから、より多くの学生が参加できるように、研修プランの策定にあたっては、平成28年度も業者にプロポーザル方式でプランを提案させ、経費負担の抑制を図った。その結果、参加経費が326,000円(諸経費含む)となり、23名の学生が参加した。また、昨年度に引き続き事前学習として、研修内容に応じて日本とアメリカの保健医療制度やその実情などの知識を自己学習させたり、自己紹介の英会話を取り入れることで充実させた。課題として、事前学習時の相互理解を深めること、施設見学では高度実践看護師(特に専門看護師、ナースプラクティショナー等)による活動紹介などを入れること、英会話は初期～中期に設定、1日のスケジュールを講義・英会話の座学と保健・医療・福祉の施設見学を半日ずつ設定、施設見学用資料の準備、看護師等による説明や質疑応答の機会を設定することが挙げられた。今後は、研修プログラムをより一層充実させるために、プログラムの評価方法を検討し、評価結果を基にした改善に取り組む必要がある。

2. 国際交流意識の向上をめざした取り組み

学生および教職員の国際交流意識の向上をめざし、以下について取り組んだ。

1) 国際交流の集い

日時：2017年2月8日(水)16:20～18:10

場所：地域ケア総合センター研修室

ねらい：本学学生が留学生等の講演や対話を通して、異文化のなかの多様な価値観を知る。

国際的視野を広げるとともに、海外で学ぶことの動機付けの機会とする。

プログラム：学生部長挨拶

講話1「パラグアイにおける青年海外協力隊の活動」

講師：南田 里美さん(本学卒業生5期生)

講話2「How to become a global worker and not die trying」(グローバルワーカーになるには～すごく大変だけど死ぬことはないよ!～)

講師：Alejandro Moreno[アレハンドロ・モレノ]さん

(会宝産業株式会社ビジネスディベロッパー)

講話3「日中カルチャーショック」

講師：盧 冬麗[ロ・トウレイ]さん(石川県国際交流協会国際交流員)

講話1～3に対する質疑応答

講師を囲んで小グループでフリートーク&質疑応答

国際交流委員長挨拶

参加者：学生26名(1年生20名、2年生4名、3年生2名)、教職員

参加学生へのアンケートを実施し、23名(88%)から回収した結果、印象や学び・気づきについてカテゴリー化してまとめたものによると、「国際交流に興味を持ち」、交流行事に対して今後も参加を希望する者や貴重な機会と捉えた者がいた。また、「他国と日本の文化の違いにより価値観が変わる」、「外国で働いたり、国際的な活動をする話を聞くと身近に感じた」、「他国での医療の違いが印象に残った」、「まずは好奇心や気持ち、行動してみることが大切」、「海外に興味を湧いた、短期でも行ってみたい」との考えが記載されており、他国の価値観や文化に興味を持つことが、国際的視野を広げることや海外で学ぶことへの動機付けの機会になったと思われた。時間制限があるなかで、終始、和やかだが刺激的な笑顔の絶えない交流会となった。今後はこのような国際交流を学生の地域活動として取り上げていくことも考えていく等、工夫が必要である。

2) 教職員向けの英会話の運営および方法の検討

教職員向けの英会話を毎週金曜日に以下のように実施した。主な参加者は16名ほどで、1回のクラスの参加者は「グループレッスン」1～6名、「プライベートレッスン」1名固定であった。「グループレッスン」の延べ参加者数の平均(1週当たり)については、前期3.1名、後期3.3名と例年(2015年度前期2.5名、後期2.3名)より高く、臨床実習を理由とした減少はなかった。委員会メンバー3名が交替で講師との連絡調整、教職員への周知、当日の準備を行った。

日時：毎週金曜日

(A) 18時～18時50分:グループレッスン(フリートーク、一部テキストを用いた文法修得)

(B) 19時～19時50分:プライベートレッスン(予約制:フリートーク、手紙、論文、学会抄録、メール等の英作文、英文読解に関する修得)

場所：3階演習室4

講師：Mr. Clive Ross

2017年度は、グループレッスンに①フリートーク、②テキストによる文法修得の2講座を設ける。①は、first course(挨拶や自己紹介ができる程度の英会話力対象)とadvanced course(海外旅行で困らない程度の英会話力対象)に分け、隔週で開催することになった。また、①、②ともテキストを用いた文法修得の時間をより多く確保する。プライベートレッスンは、複数者の申込みも可とした。

3) 国際交流の掲示板の内容の更新

本学の国際交流活動を広く周知するために設けられた学内2か所に国際交流の掲示板の内容を平成28年度版に更新した。内容は、夏期アメリカ看護研修、JICAからの委託研修(パ

ラグアイ等)、韓国の全北大学とタイのチェンマイ大学における保健医療福祉の研修である。また、平成28年3月末に訪問した、中国の中医薬大学(江蘇省)および吉林大学看護学部(吉林省)との提携覚書(Memorandum of Understanding)の締結場面の内容である。

なお、インドネシアのダルマプルサド大学等との交流写真は継続して掲示してある。

4) その他

2017年度は、「英語能力向上のための研修」を実施する予定である。国際学会出席や国際誌への投稿を視野におき、研修会等を催し、英語論文やメールの書き方、国際学会でのマナーを学ぶ機会をつくる。また、TOEFLやTOEICへの挑戦、準備講座開催の検討等、国際交流への関心をより一層高めていく必要がある。

7.2 ノースカロライナ大学との交流 (大学院科目「国際看護特論Ⅰ」)

今年度は、国際看護特論Ⅰと科目名を変更した初年度である。今年度は、ノースカロライナ大学チャペルヒル校看護学部のSeonAe Yeo教授を招聘し、以下の内容でゼミおよび講演を実施し、交流を行った。

交流内容

1. 講義・演習

テーマ：「Writing for Publication:What does it take to achieve a success that you deserve」

講師：SeonAe Yeo教授（ノースカロライナ大学 チャペルヒル校看護学部 教授）

内容：①学術論文執筆についての名著として知られる

Booth et al. *The Craft of Research, Third Edition*

(Chicago Guides to Writing, Editing, and Publishing) の講読

②受講者各自の研究関心に近い文献をデータベースで検索する

③受講者各自の研究関心に最も近い文献数件を特に研究デザインに留意して理解する

④読み込んだ上記文献についてプレゼンテーションを行う

⑤招聘教員との質疑を通し、重要な先行研究を踏まえた上で自身の研究をデザインする

ゼミには15名の院生が受講し、3名が聴講した。

2. 海外招聘特別講演

場所：石川県立看護大学 大講義室

日程：8月29日（月）15:00～16:30

テーマ：「看護におけるものの見方・考え方」

内容：ナイチンゲールを含む、欧米の・アメリカの看護理論家のものの見方・考え方を基に、具体的なエピソードを交えてご講演をいただいた。

7.3 夏期アメリカ看護研修（学部科目「国際看護演習」）

2016年8月26日～9月8日の2週間にわたり、夏期アメリカ看護研修がワシントン州シアトルで行われ、学生23名（3年19名、2年4名）が参加した。

研修内容

1. 講義

1) テーマ：「アメリカのナース（NS）の役割・教育・保健医療システムについて」

講 師：上月頼子先生（ワシントン大学看護学部准教授）

内 容：

- ①アメリカの保健医療システム
- ②アメリカのNSが働いている場（病院・クリニックやそれ以外の場）
- ③NSが提供しているサービス／メディカルスタッフの中での役割分担（Dr、SW、PT、OT、ST、NSのそれぞれの役割）、日本のNSとの違い
- ④看護教育制度（NP等のAPNの紹介、ライセンスを得るための教育、権限・責務など）

2) テーマ：「日米の医療の様々な違いについて」

講 師：Yuko Okamoto先生（Redmond Care & Rehabilitation Center）

内 容：日米の医療システム、終末期医療、医療現場の違い

3) テーマ：「シアトルのホームケア」

講 師：Susan 先生

内 容：アメリカの医療保険、年金制度、施設の種類や特徴、入院・退院システム、在宅で活動する専門職の役割

2. 語学研修

日常英会話、看護英語など

3. 保健医療・福祉施設の見学

- 1) University of Washington
- 2) University of Washington Medical Center
- 3) University of Washington School of Nursing
- 4) Swedish Hospital
- 5) Harborview Medical Center
- 6) Redmond Care & Rehabilitation Center
- 7) Keiro Northwest
- 8) Nikkei Manor

4. 日程

	月日	都市名	発着	交通機関	時刻	日程	宿泊・食事 (朝・昼・夕)
1	8/26 (金)	小松空港 羽田空港 成田空港	発着 発着 発着	NH-754 " DL-166	10:05 11:20 16:40	着後、リムジンバスにて成田空港へ 一路、シアトルへ	(機 - -)
		シアトル	着	専用車	09:22	《日付変更線》 入国審査後、専用車でワシントン大学へ	
2	8/27 (土)	シアトル		市バス	終日 夕	ワシントン大学キャンパスツアー Orca Card チャージ ホストファミリーと対面。ホームステイ宅へ	ホームステイ (機 - ○)
3	8/28 (日)	シアトル		市バス	終日	シアトルダウンタウン観光 パイプレイスマーケットやウォーターフロント など 市バスで帰宅	ホームステイ (○ ○ ○)
4	8/29 (月)	シアトル		市バス	09:30 午後	ワシントン大学へ オリエンテーション、 English Lesson (日常英語) ワシントン大学看護学部教員によるセミナー 「アメリカのナース (NS) の役割・教育・保健医療システムについて」	ホームステイ (○ ○ ○)
5	8/30 (火)	シアトル		市バス	09:30 午後	ワシントン大学へ English Lesson : Home Care (在宅看護) を実際に 行っている看護師をゲストに迎えたレッスン Redmond Care & Rehabilitation Center へ 日本人の看護師より「日米の医療の様々な違い」 についてのセミナー	ホームステイ (○ ○ ○)
6	8/31 (水)	シアトル		市バス	09:30 午後	ワシントン大学へ English Lesson (日常英語と視察のための事前学 習) Swedish Hospital (予定) へ *病院内視察と看護師によるセミナー(通訳付き)	ホームステイ (○ ○ ○)
7	9/1 (木)	シアトル		市バス	09:30 午後	Nikkei Manor へ 軽介護施設での高齢者との触れ合いと看護ケアに ついて学ぶ。 Keiro Northwest へ ボランティアスタッフとして入居者と触れ合い、 ケアだけでなくアメリカの日系人の歴史について 学ぶ	ホームステイ (○ ○ ○)
8	9/2 (金)	シアトル		市バス	09:30 午後	ワシントン大学へ English Lesson (日常英語と視察のための事前学 習) Harborview Medical Center へ (通訳付き) ※第1級外傷センターとして高い評価を得ている 病院の病棟やリハビリセンター、Medic 1などを視 察。	ホームステイ (○ ○ ○)
9	9/3 (土)	シアトル		市バス	終日	エクスカージョン: フェリーで Bain Bridge Island へ 初期の日系移民の歴史が始まった日本人ゆかりの 島	ホームステイ (○ ○ ○)
10	9/4 (日)	シアトル		市バス	終日	終日フリータイム	ホームステイ (○ ○ ○)
11	9/5 (月)	シアトル		市バス	午前 13:10	フリータイム (Labor Day のため休日) メジャーリーグ観戦 (マリナーズ vs テキサスレンジャーズ)	ホームステイ (○ ○ ○)
12	9/6 (火)	シアトル		市バス	09:30 午後	ワシントン大学へ English Lesson Presentation / Closing ceremony フリータイム	ホームステイ (○ ○ ○)
13	9/7 (水)	シアトル	発着	市バス 専用車 DL-167	朝 12:15	ワシントン大学に集合 シアトル空港へ 一路帰国の途へ	機内泊 (○ - 機)
14	9/8 (木)	成田空港 成田空港 小松空港	着 発着 着	" NH-3119 "	14:40 18:40 19:55	成田空港から小松空港へ 到着後、解散	(機 - -)

*現地の訪問予定先の都合や、飛行機のスケジュール変更、遅延により、日程が変更になる場合があります。 *NH: 全日空 *DL: デルタ航空

利用旅行会社: (株) アトラス旅行

7.4 韓国 全北大学校看護大学との交流

本学は2014年11月17日に全北大学校看護大学と提携覚書(MOU:Memorandum of Understanding)を締結した。このMOU締結を期に韓国全北大学ならびに全羅北道庁の協力を得て、大学間連携共同教育推進事業「学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成システムの構築」における石川県立看護大学企画の研修を立案した。平成27年度(2015年)の夏期休業中に全北大学看護学部(韓国)において研修する予定であったが、感染症MERS(Middle East respiratory syndrome:中東呼吸器症候群)の韓国内のアウトブレイクにより延期せざるを得なくなり、翌年3月下旬に期間を短縮して実施した。参加者は本学学部生・大学院生・教員計14名であった。

また、平成29年(2017年)度に予定されている「IPNU2017 国際看護フォーラム—中国、韓国、日本の看護師教育、助産師教育に焦点を当てて—」における講師の派遣依頼などについて、全北大学の担当教員とメールにて交渉・相談し、全北大学の2名の教員を招聘することが決まった。

開催日程	2017年8月11日(金) 10:00～16:00
開催地・会場	石川県金沢市 ホテル金沢
内容	中国(南京中医薬大学・吉林大学)、韓国(全北大学)、日本(石川県立看護大学)における看護師、助産師教育について
講師(予定)	南京中医薬大学・吉林大学・全北大学・石川県立看護大学の教員
参加者	看護学生、病院や施設の看護師・助産師・保健師、看護教育関係者、テーマに関心のある一般の方々

7.5 中国 南京中医薬大学看護学院との交流

本学は2016年3月28日に南京中医薬大学と提携覚書(MOU:Memorandum of Understanding)と学生交流プログラムの合意書(Student Exchange Program Agreement)を締結している。2016年度は、2017年度に予定されている「IPNU2017 国際看護フォーラム—中国、韓国、日本の看護師教育、助産師教育に焦点を当てて—」における講師の派遣依頼などについて、南京中医薬大学の担当教員と交渉・相談し、2名の教員を招聘することが決まった。

開催日程	2017年8月11日(金) 10:00～16:00
開催地・会場	石川県金沢市 ホテル金沢
内容	中国(南京中医薬大学・吉林大学)、韓国(全北大学)、日本(石川県立看護大学)における看護師、助産師教育について
講師(予定)	南京中医薬大学・吉林大学・全北大学・石川県立看護大学の教員
参加者	看護学生、病院や施設の看護師・助産師・保健師、看護教育関係者、テーマに関心のある一般の方々

7.6 中国 吉林大学看護学院との交流

本学は2016年3月29日に吉林大学看護学院と提携覚書(MOU:Memorandum of Understanding)と学生交流プログラムの合意書(Student Exchange Program Agreement)を締結している。2016年度は、2017年度に予定されている「IPNU2017 国際看護フォーラムー中国、韓国、日本の看護師教育、助産師教育に焦点を当ててー」における講師の派遣依頼などについて、吉林大学の担当教員とメールにて交渉・相談し、吉林大学の2名の教員を招聘することが決まった。

開催日程	2017年8月11日(金) 10:00-16:00
開催地・会場	石川県金沢市 ホテル金沢
内容	中国(南京中医薬大学・吉林大学)、韓国(全北大学)、日本(石川県立看護大学)における看護師、助産師教育について
講師(予定)	南京中医薬大学・吉林大学・全北大学・石川県立看護大学の教員
参加者	看護学生、病院や施設の看護師・助産師・保健師、看護教育関係者、テーマに関心のある一般の方々

7.7 米国Family Nurse Practitioner 視察研修

1. 目的

日本の看護教育において、2015年にNP(Nurse Practitioner)教育の導入が可能となった。それを受け、NP教育が石川県下にもたらす効果の見当をつけ、望ましい専門性や教育内容、必要な準備等の参考にするため、NPの先進国である米国ワシントン州での視察研修を実施した。これは大学改革委員会／大学院・専攻科検討班の事業の一環である。

2. 研修参加者 10名 内訳は以下の通り(職位省略)

石垣和子(学長・団長)、牧野智恵(成人看護学・副団長)、林一美(在宅看護学・副団長)、長谷川昇(健康科学)、石川倫子(看護キャリア支援センター)、金谷雅代(小児看護学)、谷本千恵(精神看護学)、塚田久恵(地域看護学)、中田弘子(基礎看護学)、中道淳子(老年看護学)

3. 研修期間、研修施設、主な研修内容

日時		研修施設、講師	主な研修内容
2017年 3/23(木)	午前	【施設】 UW School of Nursing 【講師】 Gail Johnson, DNP, ANP, FNP, DNPARNP, FNP	① 米国におけるNPの役割と活躍の場 ② NPカリキュラム構築及び実習
	午後	【施設】 UW South Campus Center 【講師】 Tresa Marshall, ARNP Family Nurse Practitioner	① Operating an NP-Led Clinic in a Rural Area—過疎地区の診療所における職務内容と裁量権、医師との連携— ② 隔地でのNPによる開業クリニック—個人経営、対象と治療、予防及び健康増進教育—
3/24(金)	午前	【施設】 Jefferson Health Care, South County Medical Clinic 【講師】 Merrily M. Mount, MSN, ARNP, 他	① A Rural Clinic as Part of a County-wide Healthcare System ② 投薬と臨床検査、患者情報の管理システム、健康増進事業
	午後	【施設】 Jefferson Health Care Hosp. 【講師】 Dr. Joe Mattern Chief Medical Officer, 他9名	① Jefferson Healthcareの概要 ② ARNPの活動と質疑応答 ③ 病院内見学
3/27(月)	午前	【施設】 Family Care of Kent 【講師】 Robert Smithing MSN, FNP, FAANP 他1名	① Family Care of Kentの実践 ② サービスが行き届いていない地域へ多くの資源を提供している診療所を導いているNP
	午後	【施設】 UW School of Nursing 【講師】 Heather Stephen-Selby, BSN, MSN, ARNP, RN	① ワシントン州看護協会における高度実践看護師の歴史の概要 ② APRN(高度実践看護師)とARNP(上級実践看護師)、NPの信念と役割
3/28(火)	午前	【施設】 Holly Park Medical and Dental Clinic 【講師】 DoQuyen Huynh, DNP, FNP, ARNP (Residency Program Director) 等	① Holly Park Clinic Tour—International Community Health Services ② 診療場面の見学、NP研修プログラム、全国のNPの立場、NP協会